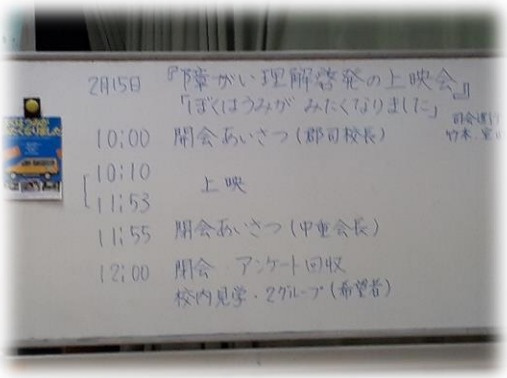
皆さん、こんにちは！

２月も終わりに差し掛かり、高等部３年生の皆さんは、卒業まであと少しですね。
最後の学校生活が素晴らしいものとなりますように！

さて、２月１５日、守口支援学校にて、『北河内地域交流会』が開催され、その交流会のメイン企画として、この度、映画上映会が行なわれました。
これは、平成元年より 28 年度まで行われていた北河内地域の支援学校合同で開催していた「地域理解啓発活動（通称ＡＰＰＬＥ）」の代わりとした取り組みです。



会場となる守口支援学校には、地域の方をはじめ、北河内地域の支援学校ＰＴＡも多数出席の中、『ぼくはうみがみたくなりました』という映画が上映されました。

この作品は、看護学生の女性が自閉症の青年と出会い、「海」へ向かう旅の中で、青年を通して「自閉症」や「障がい」について、色々な立場での視点も織り交ぜながら知り得てゆくお話でした。

この度の『交流会』では、「地域理解啓発」の一環として上映会が行われ、また、一緒に活動参加ができたことは大変良かったと思います。
上映会後は、校内見学にも参加させて頂き、守口支援学校の授業の様子や校内環境も見させて頂きました。
とても有意義な時間となりました。守口支援学校の皆様ありがとうございました。

次年度は、四條畷校が幹事校です。四條畷校らしい交流会が行われるように進めていきたいと思います。